

2026
July

学生だより

vol.59

発行人／武藤 智美 発行／公益社団法人日本歯科衛生士会

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19 TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <https://www.jdha.or.jp/>

THE 21th ANNUAL MEETING OF THE JAPAN SOCIETY FOR DENTAL HYGIENE

日本歯科衛生学会 第21回学術大会

新たな時代を担う
歯科衛生士の未来

—歯科衛生士の地位向上を目指して—

会 期 2026年 9月20日(日)～21日(月)祝

会 場 RaiBoC Hall(さいたま市民会館おおみや)

大会長 吉岡 典子(公益社団法人埼玉県歯科衛生士会 会長)

準備委員長 富永 悦子(公益社団法人埼玉県歯科衛生士会 副会長)

学生の皆さんも参加することができます。
特設ウェブサイトから参加登録のうえ、ぜひご参加ください。

主催 日本歯科衛生学会／公益社団法人日本歯科衛生士会 共催 公益社団法人埼玉県歯科衛生士会

詳細はウェブサイトをご参照ください <https://jsdhm.jdha.or.jp/21th/> 日本歯科衛生学会第21回学術大会



東京歯科大学短期大学



京都歯科医療技術専門学校



広島大学歯学部口腔健康科学科



熊本歯科衛生士専門学院

M e s s a g e

歯科衛生士の質

公益社団法人日本歯科衛生士会

会長 武藤 智美



歯科衛生士の「質」とは、単に知識や技術が高いということだけではありません。患者さん一人ひとりに寄り添い、専門職として学び続ける姿勢こそが、これからの時代にますます重要になります。令和8年度診療報酬改定で新設された「口腔機能実地指導料」は、研修を受けた歯科衛生士が実施する専門的な指導を評価する仕組みです。これは、歯科衛生士の「学び」と「実践力」が社会的に評価され始めた証でもあります。皆さんにはぜひ、資格取得をゴールにするのではなく、常に研鑽を重ね、患者さんと社会から信頼される歯科衛生士を目指していただきたいと思います。

日本歯科衛生士会は皆様と一緒に活動できる日を楽しみにしております。

目次

- 活躍する歯科衛生士02
- 全国から未来の仲間たちへ03
- 学生紹介04-05
 - 東京歯科大学短期大学(東京都)
 - 京都歯科医療技術専門学校(京都府)
 - 広島大学歯学部口腔健康科学科(広島県)
 - 熊本歯科衛生士専門学院(熊本県)
- 歯科衛生士養成校の国際交流に関する紹介06
- 未来に広がる歯科衛生士の活躍の場07
- 学会雑誌のご紹介08
- 学生会員のご案内08

活躍する歯科衛生士

FILE
21

病院から地域へ —つながる歯科衛生士の仕事—

仕事の内容について

私は東京都文京区役所の職員として、行政の歯科保健を担当する歯科衛生士として働いています。仕事は、一般的な歯科医院のように患者さん一人ひとりに対応するだけでなく、「地域全体の健康を守ること」が大きな役割です。

具体的には、母子歯科保健事業が主な業務で、妊婦さん対象の母親学級や、1歳6か月児歯科健診・3歳児健診などの法定健診、乳幼児向けの歯みがき教室など健康教育も実施しています。歯科分野にとどまらず、保健師や栄養士と連携した予防事業や、高齢者向けの口腔機能向上教室など、幅広い世代に向けた取り組みを行っています。



個別歯みがき相談



歯みがき教室

また、仕事は現場だけでなく、地域のニーズに合わせて事業を企画したり、予算を考えたり、他の部署と連携したりと、「どうすれば地域の人たちが健康になれるか」を考える役割を担っています。

そのため、私は地域全体を見て計画を立てる“企画・運営側”の視点も大切にしながら、より良い仕組みづくりに取り組んでいます。

やりがい・魅力・将来の夢

文京区役所に就職する前は総合病院に勤務していました。歯科衛生士として働く中で、特に総合病院時代に経験したチーム医療は、自分の成長につながった大きな経験です。

多職種と連携するためには歯科だけでなく医科の知識も必要で、働き始めの頃は戸惑うこともありましたが、関わった患者さんの口腔環境が改善し、少しでも口から食事ができるようになったときに大きなやりがいを感じました。

また、病棟での口腔管理の質を高めるために、看護師の意識調査を行い、その結果をもとに勉強会を開催するなど、チーム全体で取り組む環境づくりにも関わりました。



往診

しかし、院内での体制を整えても、退院後に肺炎で再入院してしまうケースを経験し、「病院の中だけでなく、生活の場まで含めた継続的な口腔管理の必要性」を強く感じるようになりました。

この課題を解決するためには地域に出て支援することが重要だと考え、行政の道を志しました。

現在は、地域での歯科保健事業を通じて、全身疾患を持つ方を含め、さまざまな背景を持つ住民に対し、予防を中心とした支援ができていることにやりがいを感じています。

まつもと みよし
松本 三善さん
(一般社団法人
千葉県歯科衛生士会)



将来は、医療と地域をつなぎ、退院後も切れ目なく口腔と全身の健康を支えられる仕組みをつくることで、「生活の中で健康を守る地域づくり」に貢献していきたいと考えています。

学生さんへのメッセージ

歯科衛生士は、妊娠期から終末期まで、健康なときも介護が必要になってからも、ライフステージを通して切れ目なく関わり、健康寿命の延伸に貢献できるとてもやりがいのある仕事です。

一方で、歯科だけの力では解決できない課題も多くあります。私自身も学生時代は、「多職種とどのように連携すればいいのか」「自分に何ができるのか」と悩むことがありました。

しかし、実際に現場に出てみると、大切なのは最初から完璧に連携できることではなく、「相手の専門性を理解しようとする姿勢」や「自分の役割を伝えること」だと感じています。少しずつ関わりを重ねる中で、自然とチームとしての連携が深まっていきます。

歯科衛生士の活躍の場は、歯科医院や病院だけでなく、地域や行政などにも広がっています。ぜひ視野を広く持ち、自分がどのように人々の生活や健康に関わっていきたくのかを考えながら、学びを深めていってほしいと思います。

PROFILE

プロフィール

2016年3月

東京歯科大学歯科衛生士専門学校 卒業
(現:東京歯科大学短期大学)

2016年4月～

東京歯科大学市川総合病院 勤務
(現:国際医療福祉大学市川総合病院)

2020年4月～現在

文京区役所入区
一般社団法人千葉県歯科衛生士会
地域保健担当

全国から未来の仲間たちへ



公益社団法人埼玉県歯科衛生士会

明日に向かって羽ばたこう

こんにちは埼玉県歯科衛生士会です。

本会は職能団体として60年の歩みを重ね、県内9支部で活動を行っています。昨年度の歯科保健指導を受けた方の数は約10万6千人でした。活動内容は政令都市・市町村のライフステージに合わせた歯科保健活動、学校歯科保健・幼稚園・保育園や高齢者の歯科保健指導などを活発に行っています。県民の皆様が健康で長生きできるよう、これからも会員一丸となり歯科保健指導に取り組んでいきたいと思ひます。

主体事業としては県民フォーラムを開催しています。また、昨年度にはホームページをリニューアルし、入会申込・研修会・各支部のイベント情報などを発信しています。学生会員の皆さんも、ぜひホームページをご覧くださいイベントに参加してください。



埼玉県歯科衛生士会
ホームページ



チャリティイベントへの参加
リレー・フォー・ライフ



埼玉県歯科医学大会



啓発グッズ作成
手づくりうちわ



身元確認研修



フォローアップセミナー



学校歯科保健指導



高齢者保健指導



多職種連携5歳児健診



健康まつりイベント参加



日本歯科衛生学会第21回学術大会を埼玉県で開催します。未来を担うのは学生の皆さんです。ぜひ参加して未来のテーマを見つけてください。多くの参加をお待ちしています。

会 期 2026年9月20日(日)～21日(月・祝)

会 場 RaiBoC Hall(さいたま市民会館おおみや)

テーマ 新たな時代を担う歯科衛生士の未来 ―歯科衛生士の地位向上を目指して―



第21回学術大会ウェブサイト



東京歯科大学短期大学
3年

お ざ き な ゐ
尾崎 和未さん

田園調布雙葉高等学校卒業



私が歯科衛生士を目指したきっかけは、両親が経営している歯科医院で、患者さんからの「この歯科衛生士さんがいるから通っている」という言葉を耳にしたことからです。歯科衛生士が歯科医院や患者さんにとって大きな存在であることを知り、歯科衛生士という職業に興味を持ちました。

入学当初は専門的な内容に難しさを覚えましたが、学びを重ね



る中で理解できることが増え、これまで家で何気なく聞こえていた歯科用語の意味も分かるようになりました。次第に学ぶことが面白くなり、知識が深まる喜びを感じています。

臨床実習では、三つの医療施設でそれぞれ異なる特色や多彩な症例に触れることで、多職種連携や歯科衛生士としての役割、他職種から求められることについて理解を深めています。実際の患者さんと関わる難しさを体験する一方で、座学で得た知識を生かした時には自分の成長を感じました。同時に、まだ不足している部分も多くあると実感し、さらに学びを深めたいという思いが強くなりました。また、私は学業だけでなく部活動にも力を入れていて、勉強の合間に気分転換をしながら充実した学生生活を送っています。

将来は、歯科衛生士として口腔だけでなく全身の健康にも貢献し、活躍の場が広がる中でさまざまな経験を積みながら、柔軟に対応できる力を身につけていきたいと考えています。そして、学校生活で得た学びを基盤に、常に新しい知識を取り入れる姿勢を大切にしながら、患者さん一人ひとりに寄り添い、信頼される歯科衛生士を目指します。

輝け 未来
歯科衛生士
学生

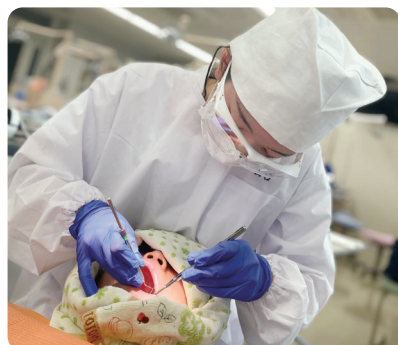


京都歯科医療技術専門学校
衛生士科 2年

や ま ぐ ち ふ う か
山口 楓夏さん

大谷高等学校卒業

私が歯科衛生士を目指したきっかけは、小さい頃に通っていた歯医者で出会った歯科衛生士さんの存在です。幼い頃の私は歯医者に対して「怖い」というイメージを持っていました。しかし、担当していただいた歯科衛生士さんがいつも優しく声をかけてくださり、丁寧に接していただいたおかげで不安な気持ちがなくなり、歯医者に通うことが嫌ではなくなりました。その経験から私も患者様の気持ちに寄り添い、安心して通えるように患者様を支えられる歯科衛生士になりたいと思うようになりました。



の経験から私も患者様の気持ちに寄り添い、安心して通えるように患者様を支えられる歯科衛生士になりたいと思うようになりました。

学生生活では、歯みがき指導や相互実

習など最初は慣れないことも多く、大変だと感じることもありましたが、回数を重ねるごとに少しずつ上達していることを実感でき、自分の成長を感じることができました。実習や授業は楽

なことばかりではありませんが、努力して定期試験や実技試験に合格した時の達成感はとても大きく、次も頑張ろうという気持ちにつながっています。また、同じ目標を持つ友達と一緒に放課後に練習したり、励ましあいながら学べることも大きな支えになっています。

将来は、患者様一人ひとりに寄り添い、安心して治療を受けてもらえる歯科衛生士になりたいと考えています。小さい頃に私が感じた安心感を、今度は自分が患者様に届けられるよう、知識や技術だけでなく「思いやり」の心も大切にしながらこれからも努力を続けていきたいと思っています。





広島大学 歯学部口腔健康科学科
口腔保健学専攻 4年
かみ かわ み さき
神川 美咲さん

広島県立廿日市高等学校卒業



私が歯科衛生士を目指したきっかけは、中学生の頃に経験した歯列矯正です。矯正前は人前で歯を見せて笑うことに抵抗がありましたが、歯並びが整うにつれて自然と笑顔が増えていきました。この経験から、歯を通して人を笑顔にできる仕事に魅力を感じ、歯科衛生士を志しました。また、自身の変化を通して、口腔の健康が心にも大きな影響を与えることを実感しました。

現在は、授業や実習を通して歯科医療の奥深さを実感しています。点として学んでいた知識が、線としてつながっていく過程に面白さを感じています。特に臨床実習では、患者さん一人ひとりに

合わせた対応の重要性や、安心していただくためのコミュニケーションの大切さを学んでいます。また、広島大学という医歯薬の専門分野が集まる環境の中で、全身と口腔の健康の関連についても意識しながら学習できている点に魅力を感じています。さらに、日々の学習の中で主体的に学ぶ姿勢の重要性も実感してい

ます。仲間と切磋琢磨しながら充実した学生生活を送っています。

将来は、歯科衛生士としての知識や臨床経験を活かし、人々の口腔の健康を支える製品の開発に携わりたいと考えています。患者さんに寄り添った視点を大切にしながら、日常生活から歯科医療に貢献できる存在を目指し、これからも努力を重ねていきたいです。より多くの人の健康を支えられるよう、常に新しい知識や技術を学び続けていきたいと考えています。



未来の 衛生士

紹介



熊本歯科衛生士専門学院
2年

いちのみや かず や
一宮 和哉さん

熊本県立熊本商業高等学校卒業



私が歯科衛生士という仕事に興味を持ったのは高校生の時でした。母が本学院の卒業生であり、また叔母が熊本県内で歯科医師として働いていたため、幼少期から歯科の分野はとても身近な存在でした。そして本格的に将来について考え、調べるなかで、歯科衛生士は社会的ニーズが高く歯科医院だけでなく病院や高齢者施設、行政、災害避難所など幅広い場で必要とされていることを知りました。その活動範囲の広さに改めて歯科衛生士という職業に魅力を感じました。それから私も母と同じ道を目指したいと思うようになりました。

入学当初は医療の基礎となる専門的な内容が多く、聞き馴染みのない専門用語を調べながら授業についていくのに精一杯で不安を感じることもありましたが、講義に真剣に取り組む、復習を重ねていくなかで少しずつ学ぶことの楽しさを感じるようになっていきました。プロービング実習ではミラーで鏡視をしながら操作することに苦戦しましたが、同じクラスの男子

学生と共に練習を繰り返し励ましあいながら切磋琢磨し乗り越えることができたと感じています。現在は学生会の役員として、生徒会のような立場で学内外の活動にも積極的に参加し、充実した学院生活を送ることができています。

2年生となり今まで以上に相互実習が増え、また一般歯科医院での臨床実習も始まるため、技術だけではなく患者さんへの配慮や対応面においても成長できるよう励んでいきたいと思っています。そして将来は、患者さんに信頼していただき生涯関わりを持てる歯科衛生士になりたいです。



歯科衛生士養成校の国際交流に関する紹介

国境を越えて広がる歯科衛生の輪 —本校における国際交流の取り組み

東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 健康支援口腔保健衛生学分野

廖 信如 (LIAO SHIN RU)

近年、歯科界でもグローバル化が急速に進み、海外の歯科事情を知ることは自身の専門性を深め、キャリアを広げるための大切な一歩となっています。本校では「国際的な視野を持つ歯科衛生士の育成」を掲げ、学生の派遣、留学生の受け入れ、海外教育機関との学術交流という3本の柱を軸に、多様な活動を展開しています。

未知の世界で広がる視点

学生の派遣では、春期に台湾(台北医学大学・高雄医学大学の2校)、夏期にアメリカ(ミシガン大学)やタイ(マヒドン大学)へ定期的に送り出しています。研修では現地の歯科事情を学ぶとともに、学生同士の交流を通じた英語力の向上や、国際的な視点での職種理解を目指しています。また、本学独自の「奨励賞制度」は大きな挑戦の場です。選出された学生自らが派遣先と相談してプログラムを立案し、近年はメルボルン大学やイエテボリ大学への派遣を実現しました。さらに、派遣前の学生には事前英語授業や助成金制度などの支援も整えており、この経験が広い世界で活躍する糧となることを願っています。私自身も引率教員として現地の先生方と交流し、教育のあり方に多くの刺激を受けました。



台湾台北医学大学への派遣の際、simodont体験風景



タイ マヒドン大学への派遣

キャンパスで進む国際化

海外への学生の派遣に加え、学内での留学生の受け入れも活発です。毎年6・7月に台湾から学生を迎え、各校1週間程度の短期プログラムを実施しています。留学生が本校の授業や演習に加わり、学生同士が共に学ぶ姿は日常の風景です。また、歯科企業や診療所見学を通じて日本の医療現場を肌で感じる工夫もしており、学生たちに新鮮な刺激を与えられるように尽力しています。



台湾台北医学大学2年生を受け入れた際の集合写真

共に未来の教育を創る

学生間だけでなく、教員や大学院生レベルの学術交流も継続的に行っています。中国、モンゴル、韓国、マレーシアなどの養成校から訪問団を迎え、双方の歯科衛生制度やカリキュラムの紹介、共同研究に向けたディスカッション、文化交流会などを重ねています。こうした対話を通じ、教育の質を世界基準で高め合う強固なネットワークを築いています。



韓国延世大学からの受け入れ 教員同士の学術交流

おわりに

国際交流は、単なる知識の習得ではありません。他者を深く理解し、同時に日本の歯科医療の価値を再発見するプロセスです。これからもこの「交流の輪」を広げ、次世代を担う歯科衛生士たちが、自信を持って世界と対話できる環境を整えていきたいと考えています。国境を越えた学びの経験が、皆さんのキャリアと人生をより豊かに彩ることを確信しています。

未来に広がる歯科衛生士の活躍の場

「人生100年時代」と言われるようになり、口腔健康管理の重要性が注目されています。その担い手である歯科衛生士は、歯科診療所に限らず、さまざまな分野で活躍の場を広げています。また、自分に合った働き方や専門性をいかすことができる職場も増えており、生涯にわたって働き続けることができる点も魅力です。

いちばん身近な歯科診療所では、予防処置や歯周病ケア、ブラッシング指導など、学生のときに学んだことをいかし、地域の患者さんとじっくり向き合いながら口腔健康管理を実践することができます。患者さんの行動変容をととして、自身の日々の成長を感じることもできます。



歯科診療所で活躍する歯科衛生士

さらに、全身の健康を視野に入れた歯科医療に関わりたい人には、病院の歯科口腔外科も選択肢のひとつです。チーム医療の一員として医師や看護師などさまざまな専門職と連携しながら、口腔健康管理に関わることができます。そのため、歯科衛生士として口腔だけでなく全身を診る視点が養われます。

また、近年ニーズが高まっているのが歯科訪問診療です。高齢の方や通院が難しい方のもとへ出向き、生活に寄り添ったケアを行います。特別養護老人ホームや、デイサービスセンターなどの高齢者施設で勤務する歯科衛生士も増えてきています。利用者さんからの「ありがとう」がやりがいにつながる仕事です。



歯科訪問診療で活躍する歯科衛生士



病院(歯科・口腔外科)で活躍する歯科衛生士

その他、保健所・保健センター・歯科医師会・企業・歯科メーカー・教育機関など、予防・普及啓発活動や商品開発、後輩育成に関わる道も広がっています。

歯科衛生士は、予防をはじめ口腔の健康を支える専門職です。どんな場所でも、あなたの優しさと専門性がきっと誰かの笑顔につながります。

現在歯科医師会で活躍中！



岐阜県歯科医師会の職員として「岐阜県口腔保健センター障がい者歯科診療所」にて障がい者の方々の方々の口腔健康管理を行っています。また県民のみなさまの口腔を守るために必要な政策立案の補助業務も行います。能登半島地震の時は被災地の支援活動も行いました。

歯科診療所や病院での業務とは異なる分野の知識や技術に触れる機会も多くあります。歯科医師の先生方や県民のみなさまと関わる中で、これまで知らなかった歯科衛生士業務について学ぶことができ、仕事にやりがいを感じています。

は せ が わ つ か さ
長谷川 司

(岐阜県立衛生専門学校 卒業
公益社団法人岐阜県歯科医師会
岐阜県口腔保健センター障がい者歯科診療所勤務)

公益社団法人日本歯科衛生士会 教育養成委員会

日本歯科衛生学会雑誌を紹介します！

電子ジャーナル化

紙媒体の冊子ではなく、Web上で論文などを閲覧できます。
どなたでもアクセス可能です！スマートフォン等で気軽にアクセスしてください！

論文を読んでみましょう

日常の歯科衛生業務および活動をまとめて掲載し、より良い業務につながるよう情報提供しています。
専門分野の研究者との交流を通じて、新たな研究のアイデアを得る機会にもなります。

日本歯科衛生学会雑誌がさらに充実した内容になるためには、
これから歯科衛生士を目指す皆さんの若い力にかかっています。
ぜひ、本学会雑誌に今から注目してくださいね！！

日本歯科衛生学会雑誌 電子ジャーナル第2弾

2026年2月10日発行の第20巻2号では、舌圧と握力の関連から口腔機能評価の可能性を示した原著論文、歯科衛生士の介入により症状改善がみられた症例報告、多職種連携や口腔ケアの効果を示す調査報告、さらにSPT継続要因として病状安定と歯科衛生士への信頼を検討した調査報告が掲載されています。



日本歯科衛生学会



J-STAGE
「日本歯科衛生学会」

♡ 仲間とつながる ♡ 学ぶ ♡ そして輝く ♡ 歯科衛生士会 学生会員になろう

学生の皆さんも歯科衛生士の仲間と一緒に学びましょう

学生会員になると？

- 活動参加**
47都道府県に歯科衛生士会があります。身近な地域で実践的な活動に参加できます。
- 学会/研修会**
日本歯科衛生学会、地域の歯科衛生士会の研修会に参加できます。
- 最新情報**
「学生だより」「歯科衛生だより」が届きます。
- 表彰**
卒業時に、優秀な学業を修めた学生は、日本歯科衛生士会から表彰されます。
- 入会金免除**
学生会員から本会員へ移行する場合は、入会金が免除されます。
- 学生会員証**
学生会員証が届きます。有効期限は、入会年度の3月31日までです。



お申し込みは簡単です

在籍している養成機関で手続きできます
申込書に年会費を添えて提出します



日本歯科衛生士会
Instagram 公式アカウント

